



『ハンカチさがし』

森山京／さく 岡田千晶／え 文溪堂 2018
 なつやすみになり ゆりは こうげんのいえに きました。そこ
 で ふしぎな たいけんをします。もりの どうぶつたちが かい
 ぎをしていて おわかれの きねんしゃしんを とろうとしてい
 ました。そこにおかあさんの ハンカチを くびにまいた うさ
 ぎが いたのです。



『ぼくの島にようこそ!』

市川里美／作 BL出版 2018
 みなみたいへいように うかぶ ちいさなしまに、ルーシーと マ
 マが りょこうに やってきました。しょうねんマイマイは、ル
 ーシーに ほんものの さかなを みせようと とっておきの ば
 しょに あんないします。まるで たからものを みるようです。



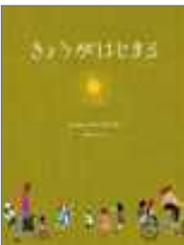
『マングローブの木の下で』

横塚眞己人／写真・文 小学館 2018
 マングローブは うみの みずにつかっても かねない ふ
 しぎな きです。そして そのきの ねっこの まわりには、
 たくさんの いきものが くらしています。ページを ひらい
 て どんな いきものがいるか のぞいてみませんか。



『せんそうをはしりぬけた『かば』でんしゃ』

間瀬なおかた／作・絵 ひさかたチャイルド 2018
 かばでんしゃは、せんそうのあいだ こうげきを うけながら
 へいたいや ぶきを はこんでいました。へいわな にほんになっ
 てからは、たくさんの じょうきやくを のせて、また はしりだ
 しました。たいへんな じだいをはしりぬけた かばでんしゃ
 の ほんとうにあった おはなしです。



『きょうがはじまる』

ジュリー・モースタッド／作 石津ちひろ／訳 BL出版 2018
 さあ きょうも いちにちが はじまります。みなさんは ど
 んな いちにちに しますか？ まいにち「きょう」がくるけれ
 ど、どんな きょうにするか きめるのは わたし。このほん
 には きょうを たのしくするヒントが つまっています。



このブックリストは、出版社の許可を得て、表紙を掲載しております。 2019年7月
 発行：宮崎県立図書館こどもしつ 電話(0985)29-2596



『きんぎょさんとめだかさん』

とよたかずひこ／作 世界文化社 2018

きんぎょさんとめだかさんが、いちにちにとあるきます。うでをいっばいのばしてひらひらてをあわせてちとちとおよぎます。おやこでいっしょにからだをうごかしてあそぶなつのたいそうえほんです。



『うみまだかな』

うちむらたかし／作 クレヨンハウス 2018

きょうはかぞくでお出かけです。どこへいってか？それはね、うみ！ぼくはうみへいくのがたのしみでたまりません。ところがくるまにのっているとあめがふってきてしまいます。うみであそべるのでしょうか。



『すいかのプール』

アンニョン・タル／作 斎藤真理子／訳 岩波書店 2018

すいかがばかっとならば、うきわをもってすいかのプールにとびこみましょう。そしてすべりだいですべって、みんなでなつのいちにちをたのしみましょう。かんこくのたのしいえほんです。



『谷戸であそぼう 夏』

相川明子／文、とみたしょうこ／絵 富山房インターナショナル 2018
谷戸とはさとやまのことです。こどもたちはくわのみをたべたりやまみちをのぼったりくだったり、はたけでやさいをとったりします。それからうみへもいきます。しぜんのかなかでじゆうにあそぶこどもたちをえがいています。



『サメだいすきすいぞくかん』

ともながたろ／絵 仲谷一宏／監修 なかのひろみ／文 アリス館 2018

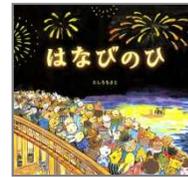
サメはほんとうにきけんでこわいわるものなの？なにをたべてどんなふうにおよぐのかな？すいぞくかんのなかからサメたちをけんがくしているようなきもちになれるえほんです。



『はなびのひ』

たしろちさと／作・絵 佼成出版社 2018

きょうは、まちにまったはなびたいかいのひです。ぼんきちのはなびしょくにんのおとうちゃんにやしよくをとどけにでかけました。すると、あるいているぼんきちをみてまちのみんながぞろぞろついてきました。



『ミジンコでございませ。』

佐藤まどか／文 山村浩二／絵 フレーベル館 2018

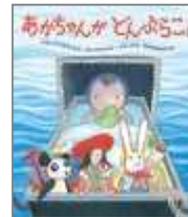
めにみえないほどのちいさないきもの、ミジンコ。そのいがいなしゅうせいがおもしろくえがかれていて、いのちのつながりもかんがえることができるえほんです。ちいさないのちにめをむけてみませんか。



『あかちゃんがどんぶらこ！』

アラン・アールバーグ／文、エマ・チチェスター・クラーク／絵
なかがわちひろ／訳 徳間書店 2018

あるひうばぐるまにのったあかちゃんが、おねえちゃんたちにつれられていったうみべで、なみにさらわれてしまいます。いっしょにいたにんぎょうたちはあかちゃんがおぼれないようにいっしょうけんめいにおせわをします。



『まいごのたまご』

アレックス・ラティマー／作 聞かせ屋。けいたろう／訳
KADOKAWA 2018

おおむかしのかぜがふくあさやまのうえから、たまごがひとつおちました。おとなのきょうりゅうたちがたまごにはなしかけますが、だれのたまごかわかりません。たまごはぶじにおうちに帰ることができるのでしょうか。



『すなのたね』

シビル・ドラクロワ／作 石津ちひろ／訳 講談社 2018
うみからかえてきたおんなのこのさんだるからすながこぼれおちました。それを「すなのたね」となづけてうめてみました。なにがでてくるのでしょうか。なつのおもいでをおとうとといっしょにそうぞうをいっばいにひろげてたのしみませ。